

2011年6月12日 (日)

- スタート
- 路 主要道路
- 路 道
- 小道
- 不明線
- 凹 穴
- 人工的物
- 工場
- 地 岩
- 小川 川
- 開けた土地
- 船下生走行可
- 船下生走行困難
- 行困難
- 立入禁止
- 電線(電線)
- 電線(電線)
- と 磁北
- 地点

# 2011信越大会(144MHz)での 私の判断と行動

2011年6月12日(日)  
於 長野県富士見高原

安島 巧

富士見高原リゾート

OCAD

OCAD10.0.1 License  
by JROAIJ



基本線間隔 10m 縮尺 1:15000

# 初めに

このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

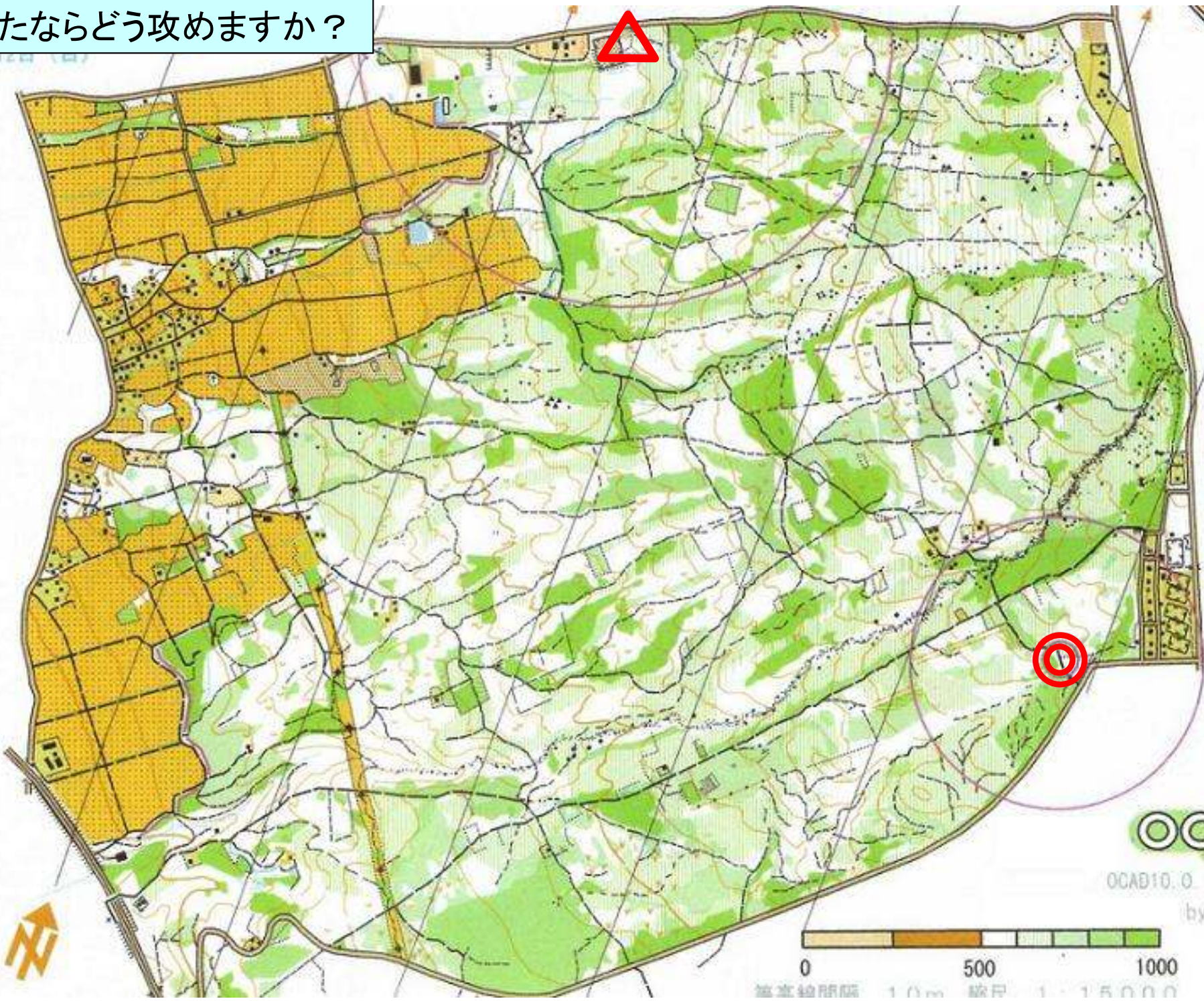
ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。



あなたならどう攻めますか？

2011年6月12日 (日)

- スタート
- 路 主要道路
- 路 道路
- 小道
- 不明瞭な小径
- 凹 穴
- 人工的特徴物
- 工場 墓
- 地 岩 岩石部
- 川 川 池
- 開けた土地
- 陥下生走行可
- 陥下生走行困難
- 行困難
- 立入禁止
- 電電気柵
- (電線通行不可)
- と 磁北
- 地点



富士見高原リゾート

OCAD

OCAD10.0.1 License  
by JROAIJ



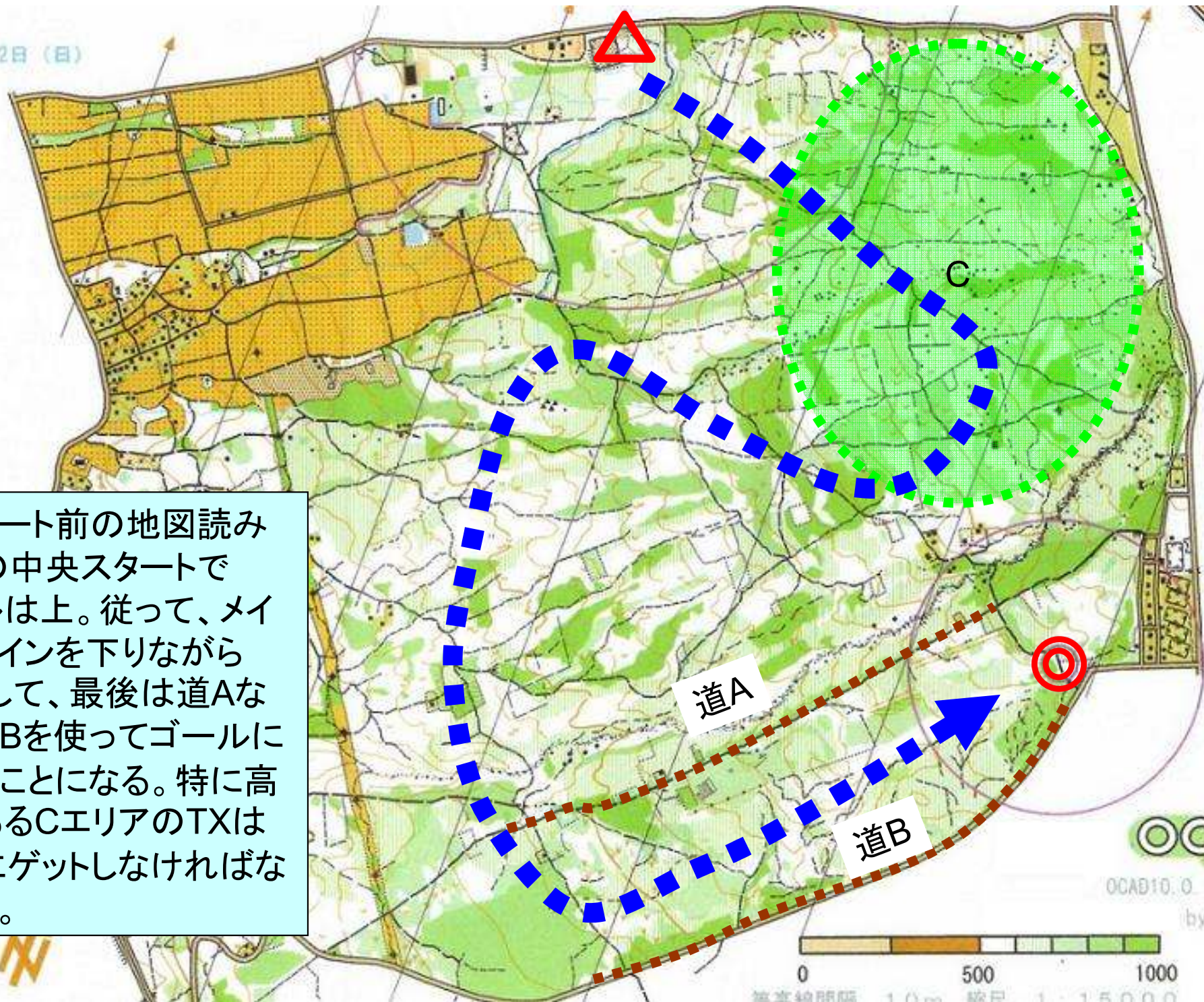
基本線間隔 10m 縮尺 1:15000



2011年6月12日 (日)

- スタート
- 路 主要道路
- 路 道路
- 小道
- 不明線な小径
- 凹 穴
- 人工的特徴物
- 工場 墓

①スタート前の地図読み  
斜面の中央スタートで  
ゴールは上。従って、メイ  
ンテインを下りながら  
ゲットして、最後は道Aな  
いし道Bを使ってゴールに  
向かうことになる。特に高  
所であるCエリアのTXは  
最初にゲットしなければなら  
ない。



富士見高原リゾート

OCAD

OCAD10.0.1 License  
by JROAIJ

0 500 1000  
縮尺 1:15000





## ②探索開始地点

道が無いのでどちらに行けばよいのかわからない。行く方向によっては藪が深くなっているので注意だ。TX5のみ田園方向で、なんと他はほぼ一直線。コンパスを疑う。Cエリアにはなさそうだが、先の理由で自信がない。TX1,4は弱く。TX3とTX5が比較的強い。TX3の方が高所なので第一ターゲットはTX3とする。





小川の道

TX3

C

③スタート円  
小川の道にでる。200mくらい下れば東へ行く道があるが、CエリアにTXがある可能性があるなので下りたくなく、なるべく高所のルートでTX3にまっすぐと進む。しかし結構藪は深く難航する。なかなかスタート円外に出られない。こんなことも珍しい。ようやく車が通れる道に出る。小川の脇を通り少し西方向へと道を下る。





④どっちだ？

TX3が鳴く。あれ？方向が出ない。しかし、そこそこ信号は強い。これは典型的な谷設置に違いない。さっきの小川か？小川まで行く途中で停波。残念

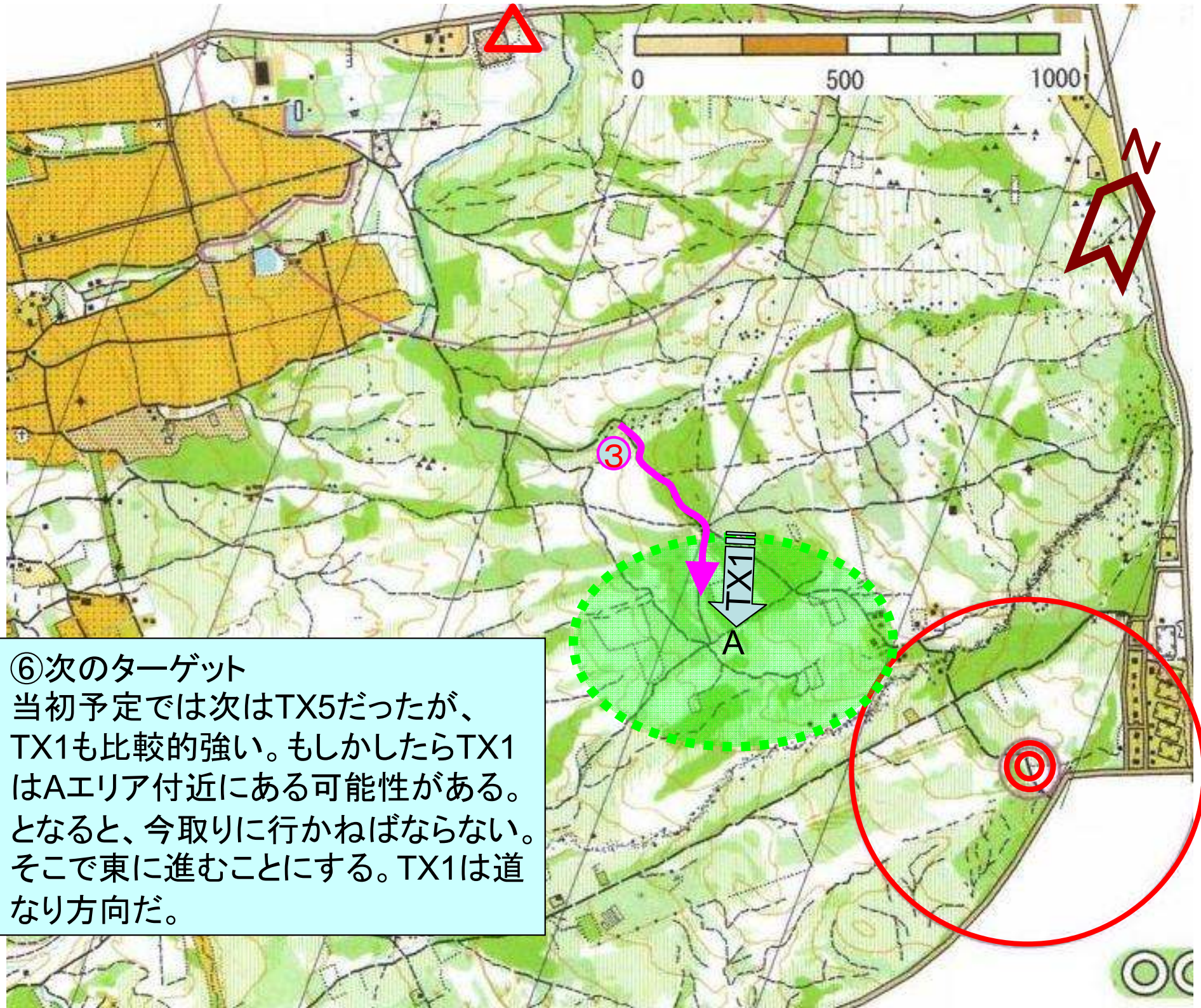




### ⑤TX3

目視ではわからないので、小川に沿って進めるところを探し、藪に入っていく。安易に小川に下りてはいけな。TX3が鳴く。やはり小川だ。小川に下っていくとフラッグが見えた。アンテナの地上高は2mくらいあったが、岸壁の高さを考えると実質0mに近い。TX3ゲット。





⑥次のターゲット  
当初予定では次はTX5だったが、  
TX1も比較的強い。もしかしたらTX1  
はAエリア付近にある可能性がある。  
となると、今取りに行かねばならない。  
そこで東に進むことにする。TX1は道  
なり方向だ。

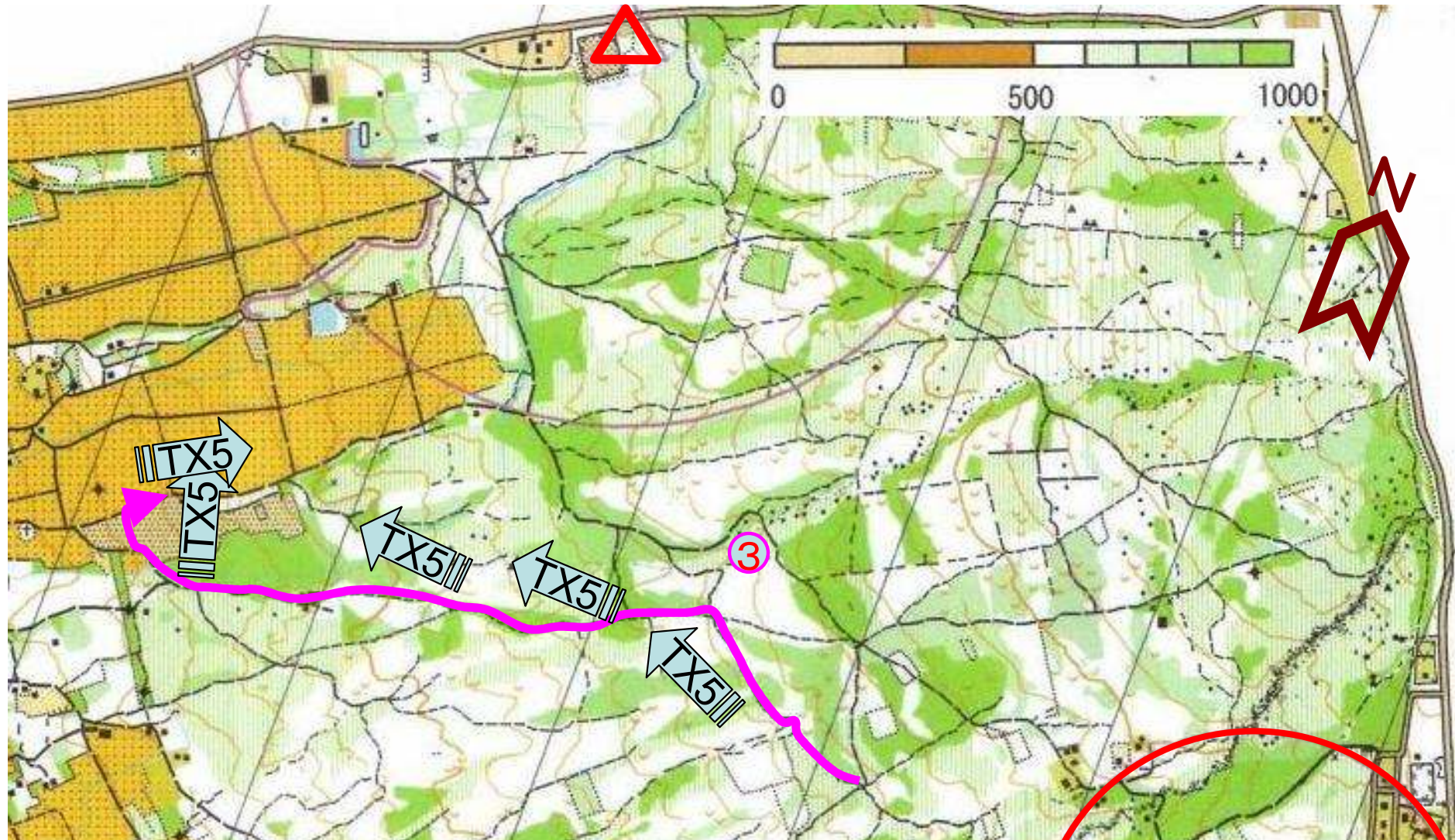


⑦分岐

分岐にてTX1を待つ。TX1が鳴く。強烈な信号を期待したが、弱い。やはりTX1はゴールへの帰り道沿いだ。やられた。TX5にターゲットを変更。



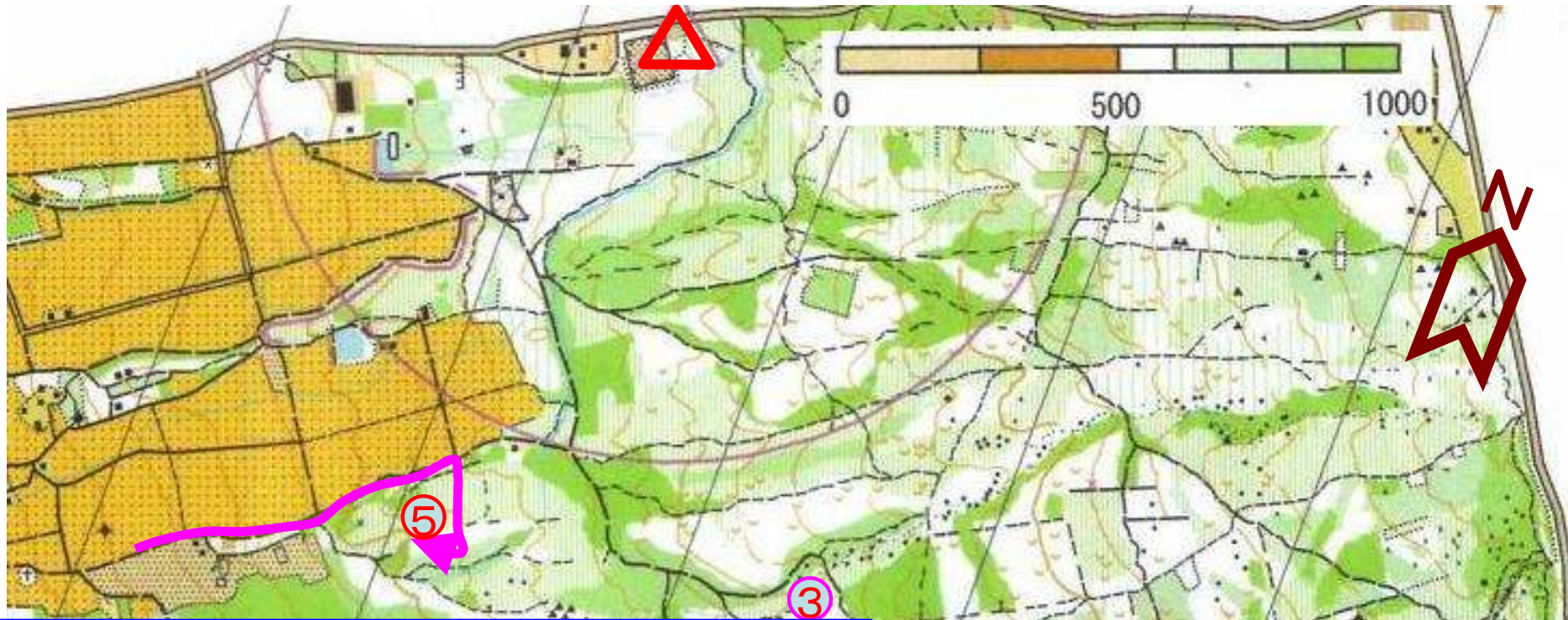




⑧道を下る

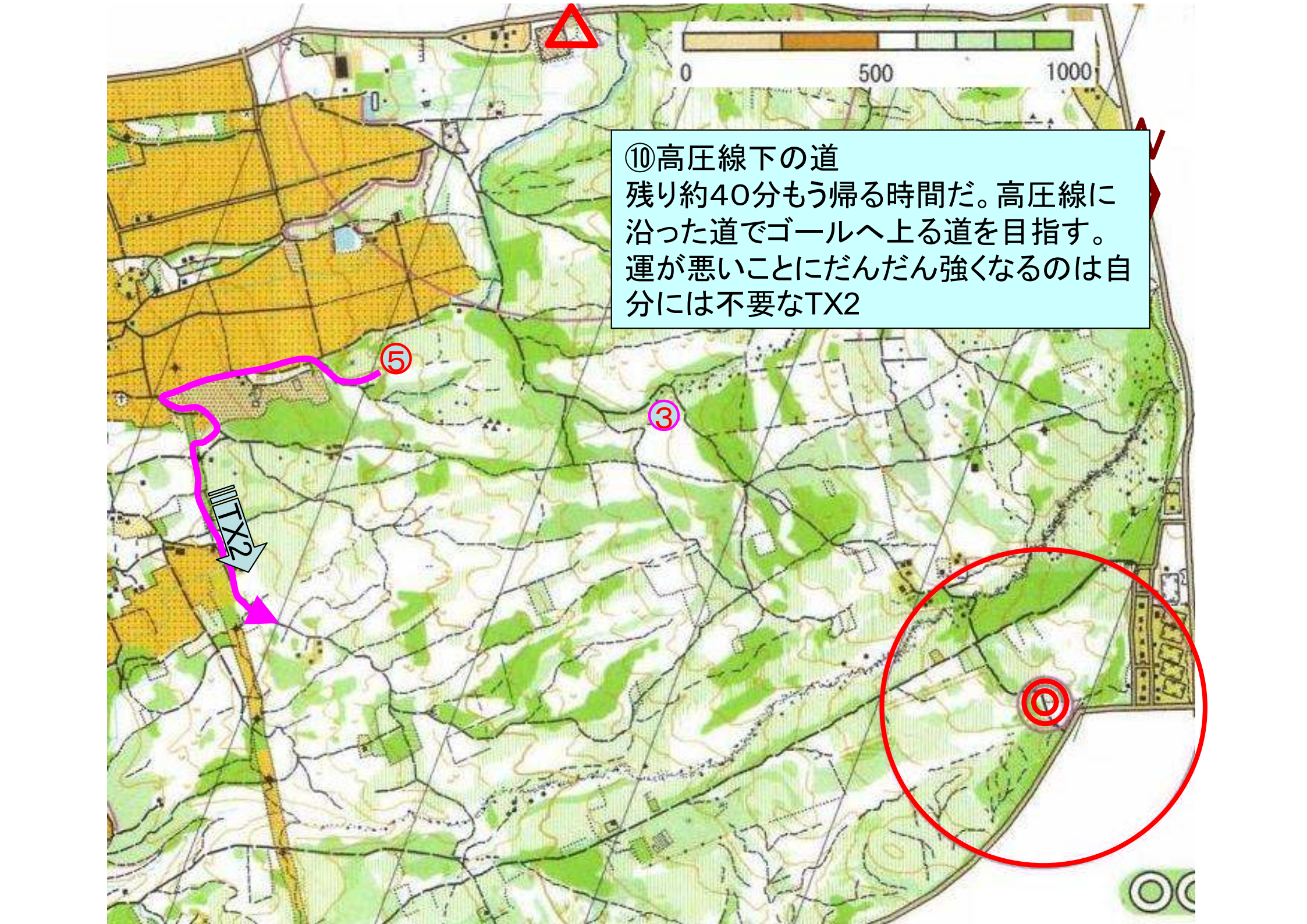
TX5はほぼ道なり右だ。どんどんと坂を下る。平野部まで降りると今度は北東方向。えっなんで？



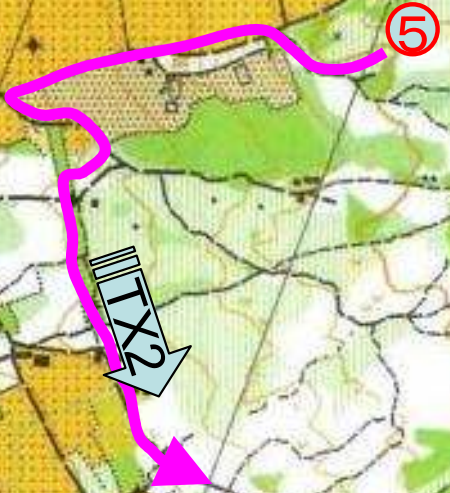


⑨TX5  
おそろおそろ上っていくが、  
依然道なり斜め右方向？よ  
うやく直角方向になったので  
藪に入り進む。もう一回鳴か  
せてTX5ゲット





⑩高圧線下の道  
残り約40分もう帰る時間だ。高圧線に  
沿った道でゴールへ上る道を目指す。  
運が悪いことにだんだん強くなるのは自  
分には不要なTX2



③



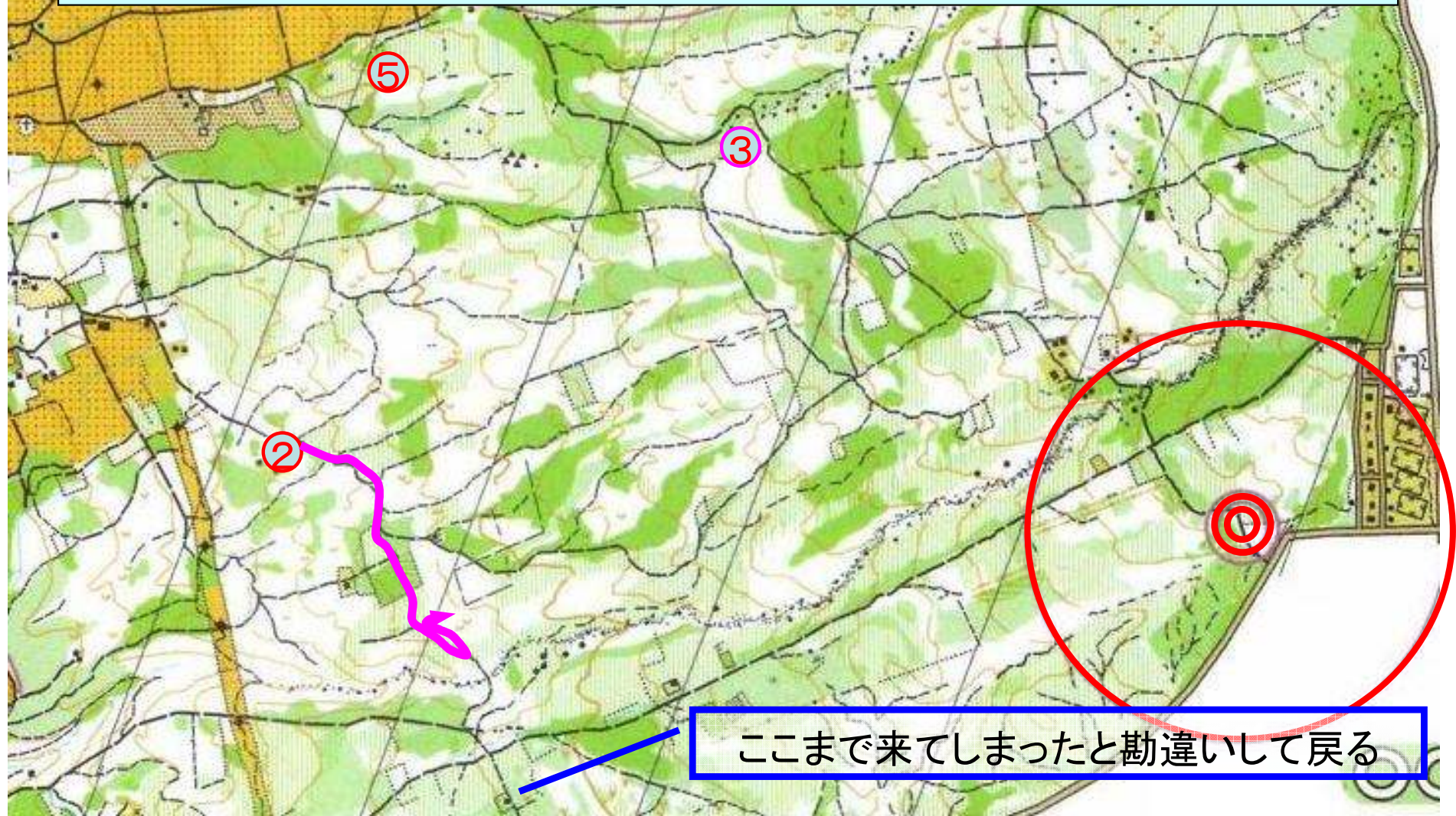






⑫ミスコース

ゴールへの道を目指して進むが、なんか様子がおかしい。十字路を通り過ぎてしまったようだ。そこで、十字路を思きき場所に戻るが、やはり所望の道ではなかった。また戻るのもしゃくなので、そこからゴール方向へと進むことにする。



ここまで来てしまったと勘違いして戻る





⑬TX4近傍  
途中藪で苦労しながらもようやく所望の道に出る。TX4が強く後ろ髪を引かれる  
思いでゴールへと道を登る。

⑤

③

②



TX4

TX4





⑭TX1近傍

TX1もまた断腸の思いで通過。しかし、昨日もゴールまではこの登り道であったが、昨日よりも歩くスピードは完全に遅い。

②

⑤

③

TX1

◎



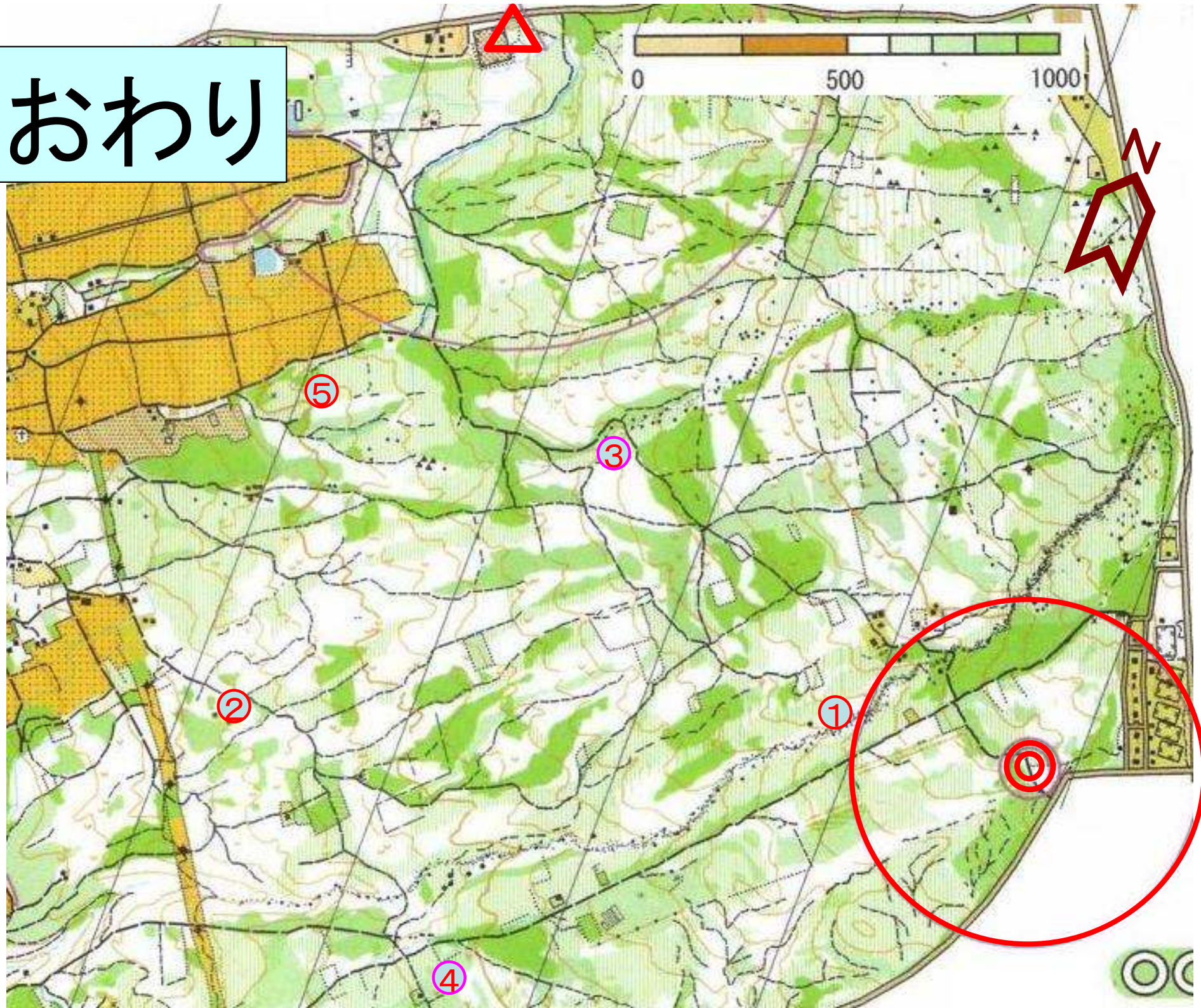


⑮ゴールへ

ゴールへと入る十字路に車がおいてある。近づくとスタッフの新井さん。「あと何人？」とTELLしている。ゴール。



おわり





## 反省

◇今回30分近いタイムオーバーをしてしまった。ということは、「残り1時間を切ったらゴールへ向かえ」ということになる。なんと悲しいことよ。

◇TX3に向かうのに道を通らずに藪に入ってしまった。普段なら道を選択するが、今回は斜面上部にTXがある可能性を捨てきれずに直進した。もし、道を行っていたらTX5を先にゲットしていたであろう。となると次はTX3で、そのままTX1,4に向かったことになる。もちろんこれはタラレバの話であり、考えても仕方がない。

◇今回は他の人も成績は良くないと思ったが、どうしてどうして、きちんとゲットしている。悪かったのは自分だけ。最初にTX3をゲットした人に比べTX5をゲットした人が圧倒的に多い。みんな川沿いの道を下ったのであろう。みんなはなぜTX3に向かって直進しなかったのだろうか。